

# 令和3年度 町政懇談会後の

## 協議検討の結果などを紹介します (第2回)

広報誌12月号で「令和3年度町政懇談会」で交わされた意見・要望を一部抜粋して紹介しました。今月号では、その後の役場関係部署での協議検討の結果について、最新の回答をご紹介します。



**Q** 高齢者などの交通費助成について、町からの周知は徹底しているのか。

**A** 民生委員、保健師およびケアマネージャーなどの連携のもと、高齢者宅訪問の際に周知するなど利用促進に努めている。問寒別と幌延の両地区で説明会を実施し、11月末で190人

に対し交付決定している。その後も、随時役場保健福祉課で受け付けている。

**Q** 幌富バイパスのトンネルが暗い。電灯はあるが全部点いていない。新しいトンネルは明るいものではないのか。

**A** 稚内開発建設部に確認したところ、トンネル内の照明については、内部時計とトンネル外の明るさによって、各電灯の自動点灯・消灯を制御する仕組みとなっており、トンネル内の車両点灯を促すためにトンネル入口に点灯喚起の看板を設置しているとのことだった。

**Q** 天塩防災道路と音威子府のバイパスなどについて、令和何年くらいに出来るのか。

**A** 幌延インターから新天塩大橋接続部までの開通予定は令和5年、音威子府バイパス事業の全線開通予定は令和7年と聞いている。

**Q** 幌延小学校の通学路、お寺の横の交差点の所をもう少し整備して欲しい。教育委員会はもう少し通学路を見て歩くべきではないか。

**A** 以前から稚内建設管理部には要請している。

北海道や警察、役場、教育委員会、各学校などで構成している「幌延町通学路安全推進会議」で、年2回、幌延地区と問寒別地区の通学路の合同点検を実施し、危険個所の洗い出しやその対策を協議するとともに、関係部局への申請や要請を必要に応じて実施している。また、今後も教育委員会職員が通勤や外勤の際、夜間など定期的に通学路の状況を

を確認していく。



**Q** 道路改良について、北進線の道路改良の計画はないのか。

**A** 計画ではもっと早く着手する予定だったが、送電網の資材置き場があり、大型車両が入り込むことから、送電網の工事が終わってから着手することとした。送電網工事が令和4年度に終了するので、令和5年度からの計画となる。

**Q** バイオマスはどうなっているのか。

**A** 酪農関係者、商工業関係者、町議会議員向けにバイオガス事業の検討に係る勉強会・意見交換会を10月、11月に開催した。令和4年度は、主に集中型プラントの事業化について検討する。

**Q** 幌延町でコロナの陽性者が出たときに告知端末機でお知らせが流されたが、その後どうなったか放送されない。

**A** 感染者の療養状況や完治の情報については、基本的に北海道から市町村への連絡はない。町の担当者が個別に情報を取得しているが、不確かな情報などもあることから、住民への周知は控えている。